

2021年9月13日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に対し、胸水または腹水の細胞診検査、
またはセルブロック法による病理組織検査を当院で受けられた患者さんへ

兵庫県立丹波医療センターでは、進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌と診断された患者さんを対象に、研究を実施しています。内容につきましては、下記の通りとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

研究課題名：進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌症例における体腔液セルブロックを用いた免疫染色の検討

1. 研究の対象

進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌と診断された患者さんで、胸水または腹水の細胞診検査、またはセルブロック法による病理組織検査を当院で受けられた方

2. 研究概要

進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に対して、手術前に化学療法を行い、癌細胞を減らしてから手術を行う手法の有用性が全国的に検討されていますが、化学療法前の患者さんの癌組織を事前に採取し、癌の確定診断である病理組織検査を実施することは、侵襲性が高いことから実施が困難とされています。そこで、進行卵巣癌・卵管癌・腹膜癌が疑われた患者さんから採取した胸水または腹水中に存在する癌細胞を収集し、セルブロックと呼ばれる塊に加工した検体を代用することで、癌の確定診断になりうる病理組織検査を実施することが可能かについて研究することといたしました。

3. 研究方法

セルブロック法により作製した検体で病理組織検査の手法である免疫染色を行い、婦人科由来の癌細胞と診断が可能かについて研究を行います。また手術により採取した癌組織の検体に対して、セルブロック法と同様の免疫染色を行い、セルブロック法と同様の結果が得られるかの研究も行います。

4. 研究に用いる試料

検査が既に終了した、当院で永久保管しているセルブロック法により作製した検体と、手術により採取した癌組織の検体を研究試料として使用いたします。改めて、患者さんに検体の採取をお願いすることはありません。

5. 研究に用いる情報の種類

- 患者基本情報
年齢、性別
- セルブロック情報
検体種類（胸水、腹水等）、セルブロック作製法
- 手術検体情報
検体種類、病理組織検査結果

6. 研究期間

この研究は、兵庫県立丹波医療センター倫理委員会承認日から 2022 年 6 月 30 日まで行う予定です。

7. 研究への患者さんの利益および不利益

利益：本研究にデータをご提供いただくことで生じる個人の利益は、特にありません。

不利益：既に検査が終了し、当院で永久保管している検体を用いるため、患者さんに検体採取をお願いすることはない、特にありません。

8. 利益相反

本研究に関して、開示すべき利益相反はありません。

9. 研究への参加の取り止めについて

いつでも可能です。取り止めに希望されたことを理由に、診療等で患者さんに不利益が生じることはありません。データを研究に用いられたくない場合には、下記の【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した際、既に研究結果が公表されていた場合は、結果を廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

研究代表者：中原 佳佑

所属：兵庫県立丹波医療センター 検査・放射線部 病理検査

所在地：〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7

連絡先：0795-88-5200（代表）